

そなえあれば
うれいなし

西 淀

防災Times

令和6年7月19日 担当:安東、上松

日頃から、本校の防災に関するご協力ありがとうございます。1学期は教員実動訓練と火災避難訓練を実施し、本校で地震や火災が発生したときの避難方法や課題点などを考える機会となりました。

さて、今回の『西淀防災 Times』では、2学期が始まってすぐに実施する防災教育についてお伝えします。



本校の防災教育について

本校では、令和3年度から防災教育を実施しています。令和4年度までは、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の前後に実施し、本校でも南海トラフ地震が発生した時に大きな被害が想定されている地震や津波を中心に防災の学びを深めました。

昨年度より、**9月1日の『防災の日』**の前後を実施日とし、地震津波に関するだけでなく、5月に学んだ火災のことを知る学習をしたり、非常用持ち出し袋の中身から必要なものを考えたり、防災グッズを実際に使ってみたりなど、今までよりも幅広く防災に関する学びが深まるように計画をしています。防災教育を通して、児童生徒だけではなく、先生方も防災意識を高めて、学校全体で防災について考えていきましょう！

今年度の防災教育について ※詳細は6月の職員会議資料をご覧ください。

授業を担当される先生方、ご協力本当にありがとうございます。担当者の方には別紙で防災教育の取り組みについて連絡しますので、各学年のみなさんで確認をよろしくお願いいたします。**担当を決めています、学年全体で授業を考えていただき、児童生徒に防災教育の大切さについて伝えてほしい**と思います。

以下にて、全体にお伝えしたいことを載せています。



◆時間について

6時間目を災害や防災について学ぶ時間、7時間目を備蓄食喫食の時間として設定していますが、各クラスの事態に応じて、防災を学ぶ時間を長くするなどの調整を可能としています。各クラスで話し合ってください調整のほどよろしくお願いいたします。

◆授業内容について

今年度も体育館の備蓄倉庫などに保管している防災グッズ(保温シート、担架、手まわしライト)を貸し出しします。個数に限りがありますので、授業で使いたい方は、夏休み中に健康教育部 防災教育担当(安東、上松)までお願いします。

毎年、防災教育を実施する際のアイデアの引き出しを増やしていくために、略案のデータ保管をお願いしています。授業者の先生方には、お忙しいところ申し訳ございませんが、略案の作成をよろしくお願いいたします。

◆喫食について

備蓄食の有無については、8月29日に保護者へ配付予定です。味見などで確認が必要な場合は、各学年でご対応をお願いします。また、**白湯と水がないことを想定して喫食してください。実施後、未開封のものを持ち帰らせてください。**

防災教育の教材紹介

次に、防災教育に関する ICT 教材をご紹介します。過去にご紹介した教材も載せています。QR コードをご用意したので、よかったらご活用ください。

①災害体験 AR



『東京海上日動火災保険』より公開している災害疑似体験ツールです。タブレット端末で設定するだけで、室内にいても浸水や土砂災害が起きた時の被害想定を視覚的に確認することができます。※safari 等の位置情報の許可が必要です。AppleTV に繋げると、モニターを見ながら波の高さを確認できるため、自然災害の疑似体験を簡単にすることができます。浸水に関しては30cmから3mまで疑似体験ができるので、布などを使ってどれくらいの津波が来たら教室が浸水してしまうか等も確認して学ぶことができます。※「L2(内水氾濫は除く)」を選択してください。

②重ねるハザードマップ



『洪水』『土砂災害』『高潮』『津波』など6項目の災害リスクを、複数重ねて確認できるハザードマップです。位置情報なしでも、検索画面に地名を入力するだけでお住まいの地域の災害リスクを知ることができます。『凡例』を選ぶと、色別の想定被害の基準が出てくるので、お住まいの地域を照らし合わせることができます。

また、災害リスクの項目を選択して、非常口マークをタップすると、近くの避難所を知ることができるので、被災した時の最寄りの避難場所も知ることが可能です。

③防災・危機管理 e-カレッジ



インターネット上で防災に関する学びの場を提供することを目的として、総務省消防庁が提供しているものです。『こども向け』『一般の方向け』『市町村長の方向け』と、年齢や役職についてコンテンツが分かれています。『こども向け』では、小学生までを対象としたクイズ形式の動画があるので、先生方も児童生徒と一緒に、災害のことや身を守る方法について考えることができるようになっています。『台風』『地震』『津波』『火事』『備え』の5つのジャンルから学ぶことができ、動画の下には大人向けのリンク紹介があるので、誰でも防災について学ぶことができます。

④防災学習ポータルサイト



国土交通省に、児童・生徒が防災を学ぶことができる素材を掲載しているサイトです。児童生徒向け動画をはじめ、楽しみながら防災行動を学べるカードゲーム、水害等の避難訓練や防災教育を実施する際のポイントを示したガイドブック等を掲載しています。最近、サイトがリニューアルして、映像や写真などがより簡単に調べることができるようになりました。

①



②



③



④

